日本外来精神医療学会誌「外来精神医療」第23巻 第2号 2023年 4月20日発行 ISSN 1883-8693

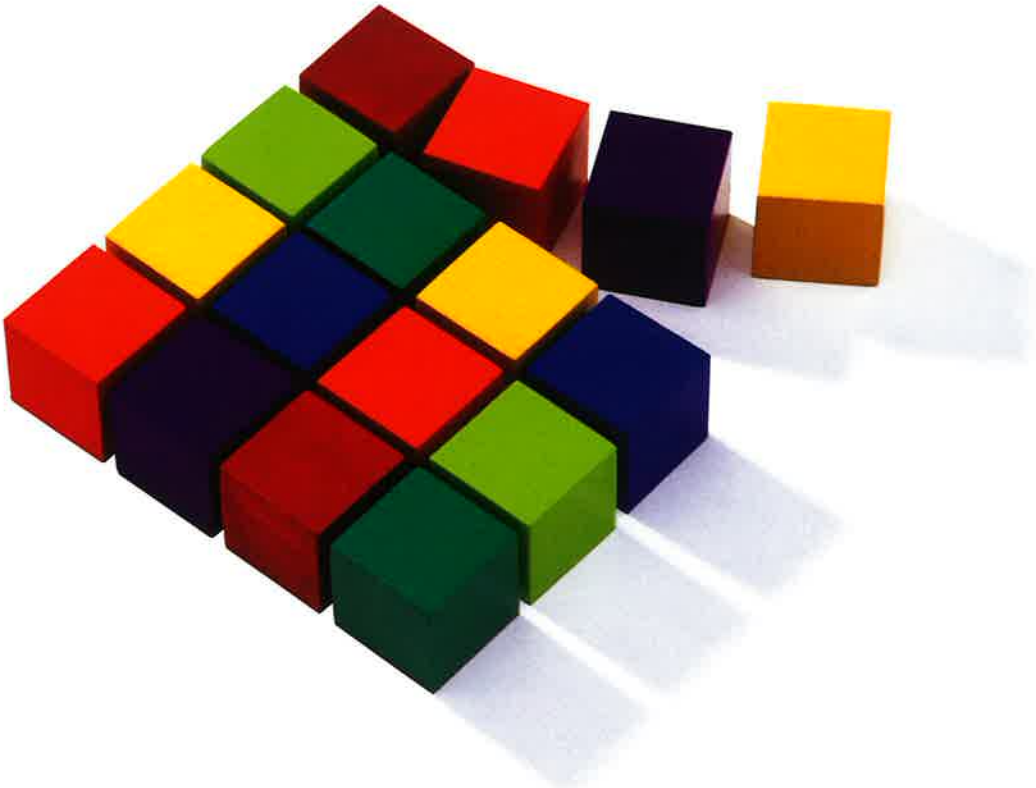
日本外来精神医療学会 jaaps

外来精神医療

日本外来精神医療学会誌
第23巻 第2号
2023
Vol.23/No.02

特集 リワークプログラムの使い勝手

「リワークプログラムの使い勝手」特集にあたって 中田 貴晃
〈民間企業における取組み①ー人事部の立場から〉
11年間のメンタル不調者対応を振り返って 吉田 篤史
〈民間企業における取組み②ー心理職の立場から〉
外部専門機関の資源を活用しながら人事担当者と協働で支援するということ 隅谷 理子
リワークプログラムの使い勝手—産業医の立場から— 廣 尚典
リワークプログラム利用者からの声と医療リワークの役割 五十嵐 良雄
主治医変更を必須としないリワーク運営 西松 能子
再休職を防ぐための「ライフ・キャリア」の視点を取り入れたリワークプログラムの取り組み 馬場 洋介
地域障害者職業センターのリワーク支援の取組
民間機関の立場から 髙橋 佳子
特別寄稿
摂食障害治療の課題とこれから 西園 マーハ文



日本外来精神医療学会
The Japan Association of Ambulatory Psychiatric Service

「リワークプログラムの使い勝手」特集にあたって

中田 貴晃（キューブ・インテグレーション株式会社）

今日精神科医療の現場や企業の人事担当者層でも「リワーク」という言葉や概念は広く普及しているが、「リワーク」というワーディングは障害者職業総合センターで2002～2003年にかけて在職精神障害者の職場復帰支援プログラムの開発の際に「再び職場へ戻る（Return to Work）」の略称として命名されたのが、その嚆矢となっている。当時、筆者も障害者職業総合センターに嘱託職員として在職し、リワークの開発に一部関わらせていただいたが、当時有効と思われるプログラムを試行錯誤し、効果検証を重ねながら体系化されたプログラムが、その後地域障害者職業センター（以下、地域センター）に展開し、現在全国の地域センターで「リワーク支援」という名称で運営されている。

また2005年には医療機関として日本で初めてメディカルケア虎ノ門が復職支援専門の終日型のリワークプログラム「リワーク・カレッジ®」の創設を皮切りに、精神科医療機関においても主治医の治療と並行した環境下で実施できることを強みにしたデイケアやショートケア、集団精神療法の枠組みを活用したリワークプログラムが開設されるようになった。そのネットワークとして、本特集でも執筆いただいているメディカルケア虎ノ門の五十嵐良雄先生が中心となって2008年に「うつ病リワーク研究会」が発足し、現在は「日本うつ病リワーク協会」として、教育研修・認定制度、普及啓発、調査研究等の活動を行っており、医療機関におけるリワークプログラムの普及に尽力している。こうした潮流にのって、精神保健福祉センターや民間の支援機関においてもリワークプログラムを運営する機関が出てくるなど、その供給主体も広がり、昨今のメンタル不調者の職場復帰に関わる社会的ニーズに応えている。

筆者もこれまで企業臨床の場で数多くのクライアントを様々なリワーク機関にコーディネートしてきたが、リワークプログラムを修了したクライアントは再発リスクの抑制に繋がっていることは言うまでもなく、「自分だけが悩んでいるのではないことがわかり孤独感から解放された」「うつ病になったことで得られたことも大きかった」「悲観的な人生観でいる自分を悲観しなくなった」など多くの自己肯定的感想が語られ、復職準備性を高めるだけでなく人生を再構築する重要なプラットホームとなっていることを実感している。

コロナ禍による影響によりうつ病の罹患者が増加する中で、リワークプログラムの需要が高まる一方で、リワークプログラムの供給側としては休職要因の多様化やワークスタイルの変化への対応、主治医や会社側との連携、特にコロナ禍においてはプログラムの運営の工夫など様々な課題に向き合いながら運用しているのが現状と思われる。

今回の特集では、リワークプログラムの運営機関をはじめ、様々な立場から話題提供をいただき、リワークプログラムという貴重な社会資源を有効に活用していくための情報発信の場としていきたいと考える。

中田 貴晃●略歴

臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士、キャリアコンサルタント
キューブ・インテグレーション株式会社エグゼクティブコラボレーター
日本外来精神医療学会編集委員・監事、日本精神保健福祉連盟編集委員、日本てんかん協会編集委員

国立精神・神経センター精神保健研究所にてEE研究に携わる。都内精神科クリニック、世田谷保健福祉センター、障害者職業総合センターにて心理カウンセリング、集団精神療法、デイケア、職業リハビリテーション等に従事する。その後、千葉県スクールカウンセラー、千葉県健康管理室心理相談員、大手EAP勤務を経て、2012年にキューブ・インテグレーション株式会社を創業。現在、企業におけるメンタルヘルスケア及び障害者雇用に関わる支援に従事。千葉県医療技術大学校非常勤講師を歴任。第4回日本うつ病学会奨励賞、第37回日本精神衛生学会優秀賞を受賞。著書（共著）に「医療従事者のための産業精神保健」「心理臨床学事典」「人事・労務担当者のためのリワーク活用マニュアル」「新訂版職場のメンタルヘルス100のレシピ」「公認心理師分野別テキスト／産業・労働分野」「キャリア・カウンセリングエッセンシャルズ400」等がある。